

市行政改革推進委員会が市長に答申

市行政改革推進委員会（脇田安大会長、10人）が松浦市の行政改革のあり方を取りまとめ、10月23日に市長に答申しました。

答申では、税収の減少、国の三位一体改革による交付税の削減等により、年々歳入が減少し、一方、歳出は、高齢化の進展により扶助費等の支出が増加する中で、新市の自立発展を目指して、産業振興、雇用創出等の施策を積極的に推進できるような安定かつ柔軟な[※]均衡財政に移行するために、様々な行政改革の取組みを求めています。

改革の方向の柱は、①行政が行う業務の見直し（行政の役割に関する再検討）②政策目標の明確化と効率的執行③行政組織の簡素化と職員の意識改革④財政基盤の確立が掲げられています。

均衡財政への道筋として、人件費、物件費を20%、補助金、普通建設事業費を15%削減して、新たな政策のための資金10億円の創出が目標として示されました。

市では、答申を基に今年度中に行政改革大綱、実施計画を策定し、改革を実行していきます。答申の内容については、市ホームページにも掲載しています。

※均衡財政＝財源不足を基金の取り崩しでまかなうことなく、歳入と歳出のバランスの取れた財政の中で、地域の活性化策が実施できる状況

○問合せ先 総務課政策調整室



12月定例会から議会中継を始めます

○中継場所 市役所本庁舎、福島支所、鷹島支所、御厨支所、今福支所、調川支所、上志佐支所、星鹿コミュニティセンターの各ロビーに設置したディスプレイ（テレビ）でご覧になれます。

○中継開始 12月定例会から開始します（星鹿コミュニティセンターは平成19年3月定例会からの予定）。

○中継時間 会議時間の午前10時～午後5時（終了時間は進行状況によって変更あり）。

○中継内容 定例会および臨時会の本会議（一般質問を含む）を中継します（委員会は中継されません）。

○問合せ先 議会事務局

年末年始のごみ収集・し尿の汲み取り

	星鹿・御厨・志佐・調川・今福町	福島町	鷹島町
ごみ収集	「ごみ出しカレンダー」「福島町ごみ収集予定表」のとおりに行います。分別方法等は、「ごみの分別・出し方便利帳」の冊子を確認して出してください。 ○12月10日（日）、24日（日）、12月29日（金）、30日（土）は、北松北部クリーンセンター（平戸市田平町）に直接搬入できます（搬入時間＝午前10時～正午、午後1時～4時）。 ※ただし、12月30日（土）は午後3時まで		「家庭ごみの分け方・出し方」のとおりに行います。 ○12月30日（土）から1月3日（水）までは休みます。1月4日（木）は第1木曜日で、燃えるごみ以外の収集日ですが、燃えるごみも臨時的に収集します。
注意事項	最近「びん類」「かん専用」の袋に、「洗っていないもの」「異物（農薬等）が混入しているもの」や「燃えるごみ」の袋に、「金属類が混入しているもの」など、処理に支障をきたすものが混ざっているとの報告を受けています。ごみを出すときは、今一度、ルールを確認してください。		
し尿の汲み取り	12月30日（土）～1月3日（水）は休みますので、年末に汲み取りを希望する人は、松浦衛生事業（協）（0956-72-0357）に早めに申し込んでください。	12月29日（金）～1月4日（木）は休みますので、年末に汲み取りを希望する人は、東興産業（株）（0955-47-4100）に早めに申し込んでください。	12月31日（日）～1月4日（木）は休みますので、年末に汲み取りを希望する人は、（株）鷹島公社（0955-48-2331）に早めに申し込んでください。
問合せ先	本庁市民生活課生活環境係	福島支所市民福祉課 市民生活環境係	鷹島支所市民福祉課市民生活環境係

平成 19 年度保育所の入所申込

平成 19 年 4 月から保育所（園）に入所を希望する人は、福祉事務所・各保育所または各支所に申し込んでください。

◆受付期間 12 月 1 日（金）～ 15 日（金）

◆入所の基準

- ①親が家庭外労働に従事している
- ②親が家庭内で家事以外の労働に従事している
- ③出産予定日前 2 か月間および出産後 2 か月間
- ④親が病気療養中であつたり、障害者である
- ⑤親が長期にわたり病人や障害者の看護に常時従事している

⑥家庭が火災や風水害などに遭い、復旧にあたっている

保育所に入所できるのは、これらの理由で家庭での保育ができない場合です。ただし、家族の人が代わつてその児童の保育ができる場合は入所できません。なお、現在入所中の人は申込書は不要ですが、受付期間内に在園児家庭調査書を提出する必要があります。

保育所申し込みに必要な書類は、福祉事務所・各保育所または各支所に用意しています。

○問合せ先 福祉事務所児童家庭係

合併を祝い記念式典を開催



新「松浦市」の誕生を祝う記念式典が 10 月 28 日、文化会館で行われました。

式では、友広市長が「各地域の良さを生かしながら、産業創造と市民の調和を目指したいと思います」とあいさつ。新市の誕生に尽力された方々に総務大臣表彰（6 人）と長崎県知事表彰（9 人）が、また、松浦地域合併協議会の委員として新市誕生に尽力された 31 人に市長感謝状が贈られました。

そして、公募で、市の木は「まき」、市の花は「つばき」に決まったことが披露されました。

また、福島町出身の NHK アナウンサー 松尾剛つよしさんの「まつうら人、全国放送中！」と題した記念講演も行われました。

各表彰を受けた方々は次の通りです（カッコ内は旧役職名）。

【総務大臣表彰】

吉山康幸さん（松浦市長）、志水勝輔さん（福島町長）、宮本正則さん（鷹島町長）、福村邦廣さん（松浦市議会議員）、松永茂治さん（福島町議会議員）、椎山賢治さん（鷹島町議会議員）

【長崎県知事表彰】

吉山康幸さん（松浦市長）、志水勝輔さん（福島町長）、宮本正則さん（鷹島町長）、福村邦廣さん（松浦市議会議員）、松永茂治さん（福島町議会議員）、椎山賢治さん（鷹島町議会議員）、寺澤優國さん（松浦市議会市町村合併特別委員長）、岡本哲夫さん（福島町議会市町村合併検討特別委員長）、田島忠志さん（鷹島町議会市町村合併調査研究特別委員長）

※「まき」や「つばき」は、風害、塩害に強く育てやすいのが特長です。松浦ではこれらを使った高生け垣のことを「ひやし」といいます。



【市の花】 つばき
福島町初崎地区一帯には 5 万本を超える群生林のほか、沿道にも多くの並木が存在しています。



【市の木】 まき
昔から住宅の生け垣に多く用いられ、特に高生け垣は松浦独特の景観を形成しています。